

## 浜松地域の経済動向

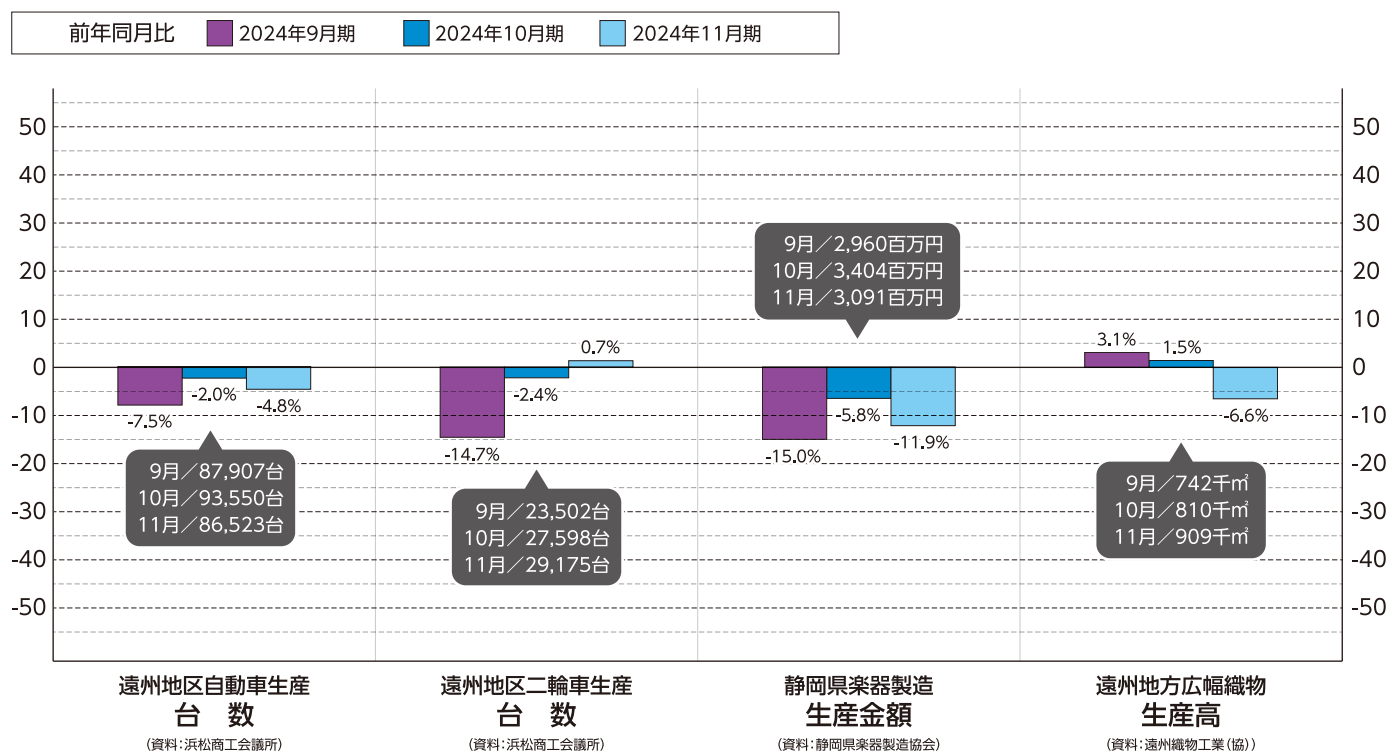
2024年  
11月を中心に

製造業は自動車生産台数が4カ月連続で前年比減少。

非製造業はホテルの稼働率がコロナ以降で最高となった。

自動車の11月生産台数は、国内向けは2カ月連続で増加したが輸出向けは4カ月連続で減少した。二輪車は3カ月ぶりに前年同月を上回り排ガス規制に伴い小型バイク以下の駆け込み増がみられる。楽器は中国経済の低迷と受験システムの変更によりピアノの生産が減少。繊維は3カ月ぶりに前年同月を下回った。タクシーは運転手を増加したことが乗車人員の増加につながり、ホテルの稼働率は個人客とビジネス客が予想以上に伸びたためコロナ禍以降で一番高い稼働率となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2024年11月における遠州地区の自動車生産台数は前年比4.8%減の8.6万台となり、4カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は3.6%増、小型四輪車は18.0%減、普通自動車は63.7%減となっている。国内向けは0.9%増で2カ月連続の増加、輸出向けは21.8%減で4カ月連続の減少となっている。輸出もしてきた小型車の生産終了が影響している。

## 二輪車



2024年11月における二輪車生産台数は前年比0.7%増の2.9万台となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。国内向けは12.3%増と3カ月ぶりに増加したが、輸出向けは0.2%減と3カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下が76.0%増、51cc～125cc以下が24.3%増、126cc～250cc以下が9.1%減で、251cc以上は3.5%減と4カ月連続で減少した。

## 楽器



2024年11月における楽器生産金額は前年比11.9%減の30.9億円となり、6カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷と受験システムの変更によりピアノの販売が低調に推移。代わりにコロナ禍で落ち込んだ管楽器の生産が増加している。ピアノ生産高は35.5%減で4カ月連続30%以上の減少となった。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ7.2%減、電子オルガン0.0%で同額、管楽器10.8%増となっている。

## 繊維



2024年11月の生産高は前年同月比6.6%減の909千㎡となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。例年ならば、衣料品向けの今春夏用生地生産がピークを迎える時期だが、盛り上がり欠ける状況である。原因の一つには、産地の生産規模の縮小に伴い、生産能力が落ちていることが挙げられる。これにより納期が読みにくくなるため、発注側から敬遠される傾向がみられる。また、海外の工場に受注が流れることも懸念される。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2024年11月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.0%増の30.3万人となった。11月の曜日配列で金・土曜日が多かったことも要因であるが、タクシー運転手数が、前年比8%程度増えているのが功を奏していると思われる。

### 観光

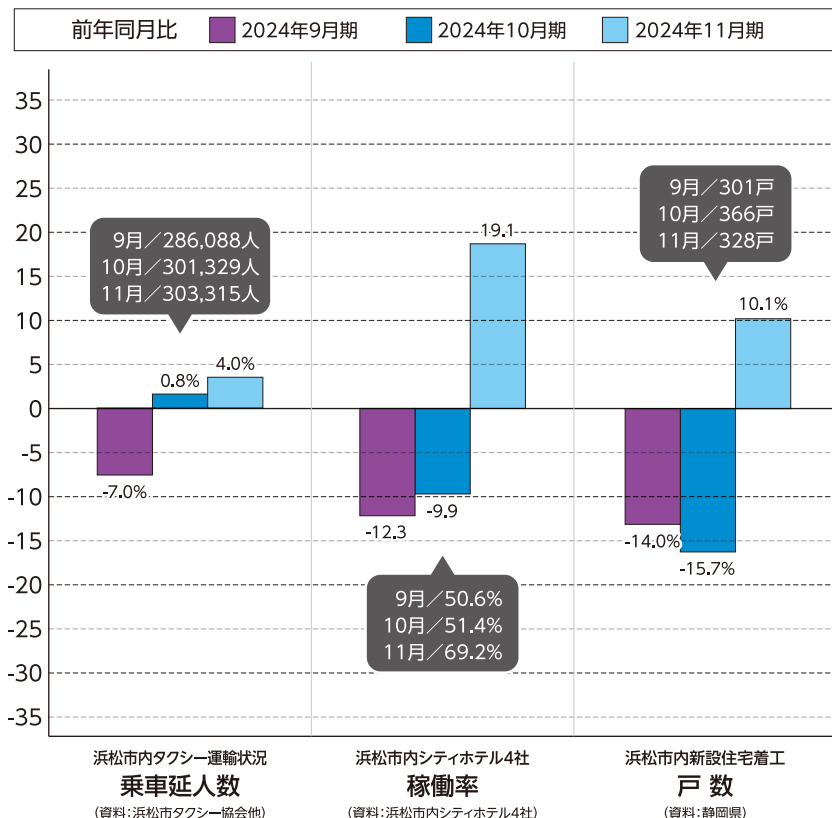


2024年11月の浜松市内ホテルの稼働率は69.2%であり、コロナ禍以降で一番高い稼働率であった。団体客では国内の募集ツアーが好調であったのと、個人客もビジネス客を中心に予想以上に伸びたためである。

### 住宅着工



2024年11月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比10.1%増の328戸となり5カ月ぶりに増加となった。内訳をみると、持家は159戸、貸家84戸、分譲住宅85戸で、前年同月と比較すると、持ち家が3戸の減少、貸家が25戸、分譲住宅が9戸の増加となった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年11月の有効求人倍率は前年同月比0.16ポイント下降の1.23倍となった。全国(1.25)との比較では0.02ポイント下回っているが、静岡県(1.10)との比較では0.13ポイント上回った。前月との比較でみると静岡県の有効求人倍率は0.02ポイント下降となったが、浜松市は0.06ポイント上昇している。

### 倒産企業



2024年11月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は29件、金額は4.1億円となり、それぞれ前年同月を下回った。昨年はゼロゼロ融資の返済が始まり、返済困難となる企業が増えたが落ち着いた様子。しかし、依然として原材料費やエネルギー価格の高騰は中小零細企業の収益を圧迫している。

### ガソリン価格



2024年11月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.4円で前年同月比で1.9円の増加となった。ガソリン補助金により175円程度を維持しているが、補助金は段階的に縮小、また将来的には廃止という方向性が政府から示され、補助金がなくなると価格の上昇により消費や物流に与える影響は大きい。

### 外国為替



2024年11月の外国為替は1ドル153.72円で、前年同月比3.89円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも4.09円上昇し、2カ月連続で円安となり、4カ月ぶりに150円超となった。

